

栃木県立文書館研究紀要、掲載論文一覧表

創刊号 平成9年(1997)3月31日発行		
発刊にあたって	高山 祐司	
明治天皇の御巡幸と民衆－明治九年、一四年栃木県の場合－	大町雅美	1～17
15世紀の下野長沼氏について	江田郁夫	18～33
下総結城氏と南河内地内の家臣	荒川善夫	34～53
下野中世の終焉－宇都宮国綱の動向を通して－	新川武紀	54～83
北条文治郎家文書「如在書」(未完)	小貫隆久	101～164

第2号 平成10年(1998)3月31日発行		
上杉禅秀の乱と下野	江田郁夫	1～17
明治前期の栃木県庁文書とその所在	川田純之	18～42
北条文治郎家文書「如在書」(二)	小貫隆久	43～94

第3号 平成11年(1999)3月31日発行		
関東取締出役の道案内について	川田純之	1～14
中世下野鍋山衆の成立と終焉	江田郁夫	15～27
坂入源左衛門の「事績考」作成と史料調査	小貫隆久	28～39
栃木県における公文書の整理と移管	丸茂 博	40～60
中世都市宇都宮について	江田郁夫	61～72

第4号 平成12年(2000)3月31日発行		
三島通庸と道路開削写真展について －「栃木県下諸景撮影」を中心として－	篠崎学美	1～63
県公文書にみる戦中の行啓・御成	丸茂 博	64～103
中世の下野国安蘇郡天命について	江田郁夫	104～118
栃木町善野佐次兵衛家文書について	小貫隆久	119～134

第5号 平成13年(2001)3月31日発行		
下野の戊辰戦争と民衆	大嶽浩良	1～28
下野宇都宮領太閤検地の施行過程について	江田郁夫	29～46
当流剣術の伝来とその門人層－北条文治郎家文書を中心に－	小貫隆久	47～62
栃木県立文書館収蔵『昭和14年日光県事務所行啓日誌』について	丸茂 博	63～105

第6号	平成14年(2002)3月31日発行		
秀吉の宇都宮仕置－関東仕置と奥羽仕置－	小林清治	1～21	
元亀期の宇都宮氏－甲相同盟と宇都宮家中－	江田郁夫	22～32	
条川芳雄家文書「万日記」について	小貫隆久	33～60	
非公開基準の作成に関する試論	丸茂 博	61～81	

第7号	平成15年(2003)3月31日発行		
報徳仕法と下野の文化	阿部 昭	1～18	
中世佐野荘と佐野氏	江田郁夫	19～26	
関東取締出役の罷免事件について	川田純之	27～40	
条川芳雄家文書「万日記」について(二)	小貫隆久	41～64	
烏山藩領志鳥村における浄土真宗移民についての基礎的研究	上野修一	65～76	
『仏学始祖 村上英俊』と松代藩の村上英俊関連資料について	市川 理	77～88	
公文書保存の歴史的意義の一考察	内木 裕	89～106	
文書寄託契約について	齋藤 均	107～122	

第8号	平成16年(2004)3月31日発行		
下野の熊野修験貞瀧坊に関する基礎的研究	荒川善夫	1～18	
西方町三澤穀家文書の中・近世文書について	江田郁夫	19～24	
大金重晴家文書	小貫隆久	25～38	
四代目県庁舎の定礎について	上野修一	39～58	
「四代目県庁舎と佐藤功一」展について －公文書の保存・活用の意義再考－	内木 裕	59～80	

第9号	平成17年(2005)3月31日発行		
「茂木文書」調査報告	松本一夫	1～14	
条川芳雄家文書「万日記」について 2	小貫隆久	15～38	
旧・「基準水準点(基四号)」発掘調査概要	上野修一	39～50	
幻の小杉放菴壁画の真相に向けて －四代目県庁舎の議場壁画計画－	内木 裕	51～76	
行政文書の収集とその課題－アンケート結果を中心に－	直井康幸	77～88	

第10号	平成18年(2006)3月31日発行		
近世宇都宮氏による官途状発給とその意味	松本一夫	1～16	
資料紹介 紀元二千六百年記念「下野郷土文化會館」建設計画について	上野修一	17～26	
県庁舎新築に伴う行政文書収集の過程と結果	内木 裕	27～48	
授業支援事業実践報告	直井康幸	49～61	

第11号 平成19年(2007)3月31日発行		開館20周年記念特別号
《論文》		
中世東国の大道について	江田郁夫	1～12
戦国時代常陸東林寺のについて	荒川善夫	13～25
江戸時代後期における地域資源の活用と生業連関 ー下野国都賀郡大芦川・荒井川流域を事例にー	平野哲也	26～43
徘徊する浪人による契約の展開とその限界	川田純之	44～62
公選戸長から官選戸長へー栃木県における戸長制度の改変ー	大嶽浩良	63～84
《研究ノート》		
勧進聖頭白上人の探索	峰岸純夫	85～90
那須国造碑と由緒	小貫隆久	91～98
県印と県名文字	石川 健	99～104
昭和3年から昭和22年までの那須野への行幸について	市川 理	105～112
《史料紹介》		
上山家文書にみる丹波国水上郡における旗本佐野氏	京谷博次	117～125
山崎美成の「日光日記」 ー天保期東叡山修史事業と日光山史料採集ー	山澤 学	126～140
《研究動向》		
下野中世史研究の回顧と展望ー『栃木県史』以降ー	松本一夫	141～156

第12号 平成20年(2008)3月31日発行		
南北朝期の越後守護代芳賀氏をめぐって	松本一夫	1～10
室町・戦国期東国社会における関東公方観 ー関東公方の社会的地位に関する試論ー	和氣俊行	11～21
喜連川家と縁切寺東慶寺	阿部能久	22～29
近世後半における鍋山の石灰業	山本訓志	30～43
栃木県における近代煙草栽培関連史料ー屋代嘉之助日誌・他ー	上野修一	44～81
栃木県における明治期の中等学校について	直井康幸	82～92

第13号	平成21年(2009)3月31日発行		
下野薬師寺の古代史	佐藤 信	1～12	
鎌倉末～室町期の宇都宮一族―「宇都宮」を名乗った人々―	松本一夫	13～23	
戦国期佐竹氏の起請文に関する基礎的考察	月井 剛	24～50	
文久2年前期の宇都宮藩の動向	鈴木 拳	51～64	
栃木県における明治前半の教員養成	直井康幸	65～72	
明治時代前期における栃木県石灰産業の一側面	山本訓志	73～84	

第14号	平成22年(2010)3月31日発行		
小山義政の乱にみる室町幕府と鎌倉府	杉山一弥	1～16	
小山氏と中泉荘	松本一夫	17～27	
戦国期南奥領主の起請文に関する基礎的考察	月井 剛	28～46	
野州石灰焼成窯の変遷	山本訓志	47～54	
「栃木県下男女中等学校入学査定法と口頭試問題」にみる中等学校の選抜条件	直井康幸	55～66	

第15号	平成23年(2011)3月31日発行		
戦国末期における下野那須衆の厳島社参詣 ―厳島神社蔵絵馬の墨書をめぐって―	市村高男	1～12	
鎌倉・南北朝期における茂木氏所領の伝領	松本一夫	13～22	
武家における「下野守」	木下 聡	23～36	
笠間氏の服属過程―起請文の交換に着目して―	月井 剛	37～48	
戦国期城館が町場近くに築かれた経済的な理由について	荒川善夫	49～62	
江戸時代における川利用の多様性と諸生業の共存 ―西方郷と小倉川―	平野哲也	63～90	
内国勧業博覧会の分析結果に見る明治後半の野州石灰	山本訓志	91～98	
公文書管理法と今後の自治体の歴史的行政文書の管理に関する課題	大塚美昭	99～118	

第16号	平成24年(2012)3月31日発行		
戦国時代下野宇都宮氏の外交路線の変遷	荒川善夫	1～20	
真崎義伊(宣伊・宣治)に関する一考察	佐々木倫朗	21～34	
宇都宮国綱発給文書調査報告	月井 剛	35～44	
江戸時代における温泉と村経済 ―下野国那須郡小口温泉を事例に―	平野哲也	45～70	
明治二一年焼失県公文書の復元について	丸茂 博	71～92	
ドロマイト発見期における野州石灰の動向	山本訓志	93～102	

第17号 平成25年(2013)3月29日発行		
戦国期佐竹氏の起請文に関する一考察 －判物形式と書状形式の比較検討を中心に－	月井 剛	1～24
地震湖に沈んだ村の災害対応 －天和地震後の五十里村による生業と暮らしの再建－	平野哲也	25～52
栃木県における明治10年代の郡長	丸茂 博	53～69
大正時代における農業用野州石灰の状況	山本訓志	71～78
〔史料紹介〕高野山櫻池院「下総・武蔵・諸国供養帳」(その一)	佐々木倫朗	79～111

第18号 平成26年(2014)3月31日発行		
宇塚道慶の活躍－室町期関東の有徳人－	山田邦明	1～19
元号「建武」の呼称－「けんむ」と「けんふ」－	荒川善夫	21～31
小山領没落後の小山氏	黒田基樹	33～37
桜町仕法諸施策の展開と住民動向 －仕法着手から出奔事件まで－	阿部 昭	39～62
近世後期下野旗本知行所の農村荒廃下における動向 －芳賀郡下高間木村を中心に－	西村陽子	63～83
江戸時代の下野における野生獣の防除と利用	平野哲也	85～104
栃木県布達集の変遷と系統	丸茂 博	105～126
〔史料紹介〕大庵寺「念仏日記」	月井 剛	127～145

第19号 平成27年(2015)3月27日発行		
上杉禅秀の乱後の犬懸上杉氏被官と禅秀与党	杉山一弥	1～15
天徳寺法衍の花押型の変遷をめぐって	松本一夫	17～28
戦国期下野の村落と土豪に関する基礎的考察	荒川善夫	29～43
仕法打ち切り延長論と住民訴願－桜町仕法の再建過程－	阿部 昭	45～64
江戸後期から明治中期の文書管理・保存について －芳賀郡三谷村と周辺地域を中心に－	西村陽子	65～80
明治8年における栃木県の法令回達制度 －乙第121号にともなう改正点を中心に－	丸茂 博	81～103
〔史料紹介〕高野山櫻池院『下総・武蔵・諸国供養帳』(その二)	佐々木倫朗	105～133

第20号 平成28年(2016)3月31日発行		
下野唐沢山城に対する上杉謙信と相模北条氏の思惑	荒川善夫	1～13
大庵寺「念仏日記」の基礎的考察－人名の分析を中心に－	月井 剛	15～30
江戸時代後期下野国における旱害と水利秩序 －明和7年・8年と文政4年の大干魃の事例から－	平野哲也	31～57
初の普選による昭和2年栃木県会議員選挙	木村友典	59～78
〔史料紹介〕西沢金山探鉱株式会社 重役決議録	山本訓志	79～98

第21号 平成29年(2017)3月31日発行		開館30周年記念特別号
《論文》		
渡り歩いた戦国・近世初期の武将藤田信吉	荒川善夫	1～14
鎌倉時代京都周辺における宇都宮氏の活動と人的つながり	木村真理子	15～23
近世後期の北関東における海魚の流通	小貫隆久	25～41
『田夫真手兵衛無手物語』の世界 ー江戸時代後期下野国における世相と百姓論ー	平野哲也	43～61
《研究ノート》		
村入用帳にみる徘徊浪人の行動 ー下野国那須郡伊王野村を例にー	川田純之	63～70
《史料紹介》		
天正15年の北関東情勢ー新出の壬生義雄書状をめぐってー	江田郁夫	71～78
唐沢山城の開城をめぐってー結城晴朝書状写の紹介を中心にー	月井 剛	79～84
『勧学』に見る鈴木石橋の経世済民思想 ー翻刻・補注・現代訳に添えてー	阿部 昭	85～98
廻国行者道観の5年間	京谷博次	99～118
日光県における協救社の養豚奨励	石川 健	119～126

第22号 平成30年(2018)3月31日発行		
戦国期下野小山氏の生き残り戦略ー当主の代替り・交替を通してー	荒川善夫	1～12
戦国期毛利氏の起請文に関する基礎的考察	月井 剛	13～30
『看聞日記』を通して見る一揆	飯塚 隆	31～39
凶年・飢饉の記録が伝えるものー近世人の「用心」ー	菊池勇夫	41～56
五十里洪水の記憶 ー下野国における享保8年8月洪水と社会の対応ー	平野哲也	57～77
近世都市災害としての大火 ー江戸と宇都宮の防火体制と町火消の成立をめぐってー	高山慶子	79～92
明治初期の地方制度変遷に伴う村方文書の引継ぎについて ー栃木県内の事例からー	西村陽子	93～110
明治10年代の経済変動と野州石灰	山本訓志	111～120

第23号 平成31年(2019)3月31日発行		
下野宇都宮氏改易考	荒川善夫	1～14
徳政令と戦乱	飯塚 隆	15～22
村の仕来りと文書による秩序保障 ー河内郡岩原村役米一件を事例としてー	西村陽子	23～38
〔史料紹介〕小平濱次郎「日露戦役従軍実録」	森住房則	39～71

第24号	令和2年(2020)3月31日発行		
〔論文〕			
改易後の小山氏と宇都宮氏の動向	荒川善夫	1～14	
明治初期の村方騒動と郷例―河内郡岩原村を事例として―	西村陽子	15～26	
〔史料紹介〕			
「弘化3年異国船渡来一件」	飯塚 隆	27～44	
小平濱次郎「日露戦役従軍実録」(その2)	森住房則	45～85	

第25号	令和3年(2021)3月31日発行		
戦国・豊臣期の下野祖母井氏	荒川善夫	1～12	
郷例・格式と文書による保証―下野における事例から―	西村陽子	13～25	
明治期における小学校の運動会に関する一考察 ―芳賀地域の史料紹介を中心に―	直井康幸	27～36	
大日本協会の設立と栃木県における内地雑居尚早派の活動	森住房則	37～55	

第26号	令和4年(2022)3月31日発行		
〔論文〕			
戦国時代から考える現代日本の原則と国民の義務 ―下野を中心とした史料を通して―	荒川善夫	1～16	
江戸時代後期の村の災難と百姓の対応 ―下野国都賀郡助谷村「条川政之助日記」にみる火事・病気・ 〔研究ノート〕	平野哲也	17～39	
戦国期の武田氏と下野の諸領主	松本一夫	41～50	
〔史料紹介〕			
「唐船風説書」	飯塚 隆	51～61	
定式御普請出来形帳―館林領渡良瀬川通の事例から―	膝附美寿々	63～73	
明治三十四年の伊藤博文書簡	森住房則	75～80	

第27号	令和5年(2023)3月31日発行		
〔論文〕			
過去ではない中世―中世の文化財―	荒川善夫	1～18	
江戸時代における下野国の蘭草生産と荒物販売 ―下都賀郡小野寺村を中心として―	平野哲也	19～46	
文書館史料を利用した授業案	飯塚 隆	47～56	
〔研究ノート〕			
近世後期以降における栃木町の醤油事情	鯉沼美沙	57～70	
栃木県の成立と県庁移転をめぐる動き	森住房則	71～78	
〔史料紹介〕			
近津神社祭礼時における相撲興行棧敷関連史料について	直井康幸	79～88	

第28号	令和6年(2024)3月31日発行		
〔論文〕			
戦国期権力と土豪との関係 ―宇都宮・小山両氏の土豪クラスの家臣を通して―	荒川善夫	1～16	
戦国期における証人返還・証人替の作法 ―佐竹氏・伊達氏を中心に―	月井 剛	17～30	
下野国における天明六年七月洪水	平野哲也	31～48	
〔史料紹介〕			
「下野国寒川郡小山領河原田村地詰帳」	飯塚 隆	49～64	
「嘉永七寅年都賀郡山田村御請」 ―品川御台場への木材供出―	鯉沼美沙	65～78	

第29号 令和7年(2025)3月31日発行		
〔論文〕		
豊臣政権期の下野佐野信吉	荒川善夫	1～17
江戸時代後期下野国における干瓢生産	平野哲也	19～38
近世宇都宮「産物さらしもめん」の生産と流通	鯉沼美沙	39～53
明治前期の栃木県における文書管理	森住房則	55～65
〔史料紹介〕		
市の堀用水の芳賀郡への延長に関わる契約書	飯塚 隆	67～76

研究紀要につきましては、県庁本館2階県民プラザ(電話028-623-2073)にてお求めいただけます。

第1号	売り切れ
第2号	1,030円
第3号	790円
第4号	売り切れ
第5号	490円
第6号	470円
第7号	410円
第8号	売り切れ
第9号	200円
第10号	210円
第11号	280円
第12号	180円
第13号	200円
第14号	210円
第15号	350円
第16号	300円
第17号	330円
第18号	470円
第19号	420円
第20号	330円
第21号	400円
第22号	410円
第23号	360円
第24号	400円
第25号	340円
第26号	530円
第27号	610円
第28号	560円
第29号	430円